

# 感染症情報

9月18日～24日(第38週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。  
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★		
⑥	溶連菌感染症	★★★★	→	コンスタントにみられます
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★		
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★	→	
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★		
⑪	手足口病	★★★★	→	コンスタントにみられます
⑫	ヘルパンギーナ	★★	↓	減少中です
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★★	→	
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★★	↓	発熱や発疹を伴います
⑯	RSウイルス感染症	★★	↓	減少中です
⑰	インフルエンザ	★★	↓	減少中です
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★★★★	→	流行中です
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★★★★	↓	まだ多いです
⑳	その他のかぜ症候群	★★		

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)オミクロン株」はお盆明け頃から増加傾向でしたが現在は変化なしで流行中です。成人での増加が目立ちましたが現在はすべての年代で流行しています。この第9波が今後どうなるかは予想ができません。

「RSウイルス感染症」「インフルエンザA型」はかなり少なくなりましたが今年の冬の流行がいつから始まるのかが心配です。

「ヒトメタニューモウイルス感染症」も以前よりは少なくなりました。夏かぜの1種である「ヘルパンギーナ」はほとんどみられなくなりましたが最近「手足口病」が多いです。全体的にみて今年は「夏かぜ症候群」が少ないです。

「溶連菌感染症」はコンスタントにみられています。

様々な感染症が流行していますから引き続きWithコロナの対応をしていきましょう。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある